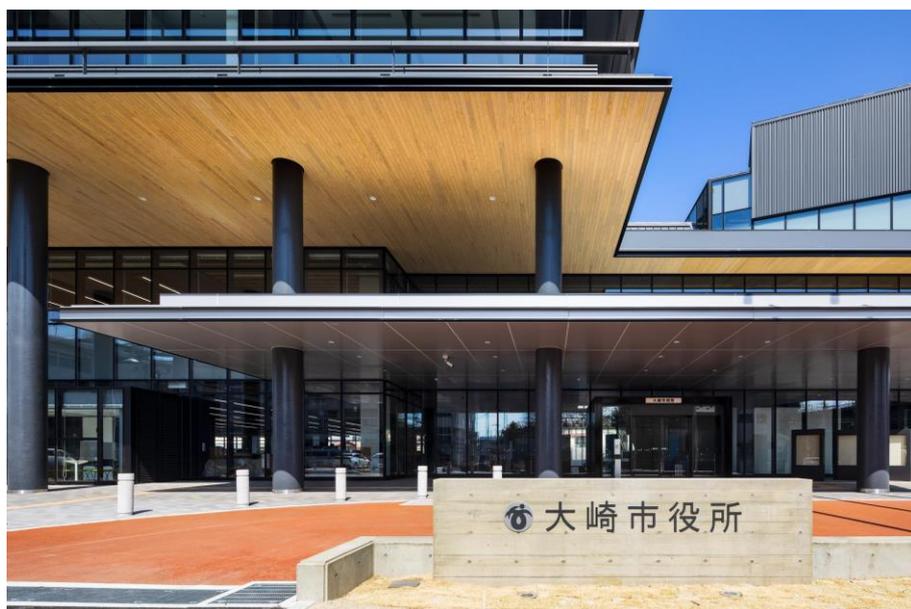


プロジェクト写真



施設概要

所在地 : 宮城県大崎市古川七日町1番1号
 施設用途 : 事務所
 構造 : 鉄骨造 地上5階建て
 規模 : 敷地面積 6,737.53㎡ 延床面積 12,084.45㎡
 竣工 : 2022年11月
 材料 : スギ(大崎市産材)
 木材使用量 : 36.12㎡(うち大崎市産材 35.90㎡)

設計・施工

設計・監理 : 株式会社 久米設計 東北支社
 施工 : 建築 橋本店・村田工務所・荒谷土建特定建設工事共同企業体
 設備(電気) ユアテック・富士電工・大崎電業特定建設工事共同企業体
 (機械) 菱機工業(株)・(株)北陵建設特定建設工事共同企業体
 (地中熱) (株)北陵建設
 木材供給 : (株)内外テクノス, (株)三洋工業東北システム, 栗原木工(株)

設計方針

大崎市役所本庁舎は「市民の誇り」「安全と安心」「賑わいと情報発信」「豊かな資源」をつなぐ『大崎モデル』を実現する循環型庁舎として「時代の変化（潮流）に対応する地方自治の拠点」を実現するため、3つの基本方針を定めて計画しています。

- 1 みんなが利用しやすく、親しみのある庁舎
市民交流エリアの整備、市民窓口を1・2階に集約、ユニバーサルデザインの徹底、内装仕上げ材や外部の軒天材に大崎市の市有林から伐採した木材を使用。
- 2 災害に強く、情報・交流拠点としての庁舎
防災機能を4階に集約、屋内広場・市民協働室の設置。
- 3 環境へ配慮し、管理コストを考慮した庁舎
自然エネルギーの活用、PCコンクリート等による工期縮減。

設計趣旨

◆建築計画

- ・コンパクトでフレキシブルな平面計画とした「高効率な行政機能エリア」とまちの賑わいと親しみを生み出す「市民に開かれた市民交流エリア」で構成。
- ・1・2階にオープンな市民窓口や市民交流機能を配置し、サービスとわかりやすさを考慮。3・4階には執務室を集約配置し、5階には独立した議会機能を配置した平面計画としている。
- ・高齢者や家族連れ、車椅子利用者まで誰もが利用しやすい庁舎とするため、ユニバーサルデザインやバリアフリーを徹底した。
- ・ロビーや待合スペースは、十分な広さと適切なベンチ数を確保し、市民が憩い、気軽に来庁できる空間とした。また、市民交流エリアには屋内広場、観光・地域産業PRスペース、及び市民協働室等の諸室を設け、市民スペースの拡充を図っている。
- ・執務エリアと来庁者エリアは、明確に区分し動線の交差を避けるなど、セキュリティレベルの向上を図った平面計画としている。

◆構造計画

- ・災害時の防災拠点として、大地震時の人命保護や、躯体の損傷防止に配慮し、被災後の初動を迅速に行い、通常業務を継続すると共に、復旧活動を幅広く支援するための施設を目標とするため、構造体の重要度係数は1.50を採用。
- ・数百年に一度の確立で発生する可能性のある大地震動（震度6強程度）後、構造体の補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて機能確保を図る。

設計者

【意匠・統括】

所属：株式会社 久米設計 東北支社

名前：五十嵐 学

【構造設計】

所属：株式会社 久米設計

名前：依田 博基

アクセス

- ◆東北自動車道
古川インター下車
約5分

- ◆JR古川駅下車
徒歩約20分

住所

〒989-6188

宮城県大崎市古川七日町

1番1号

